

平成22年度第3回宮城県私立学校審議会議事録

1 日 時 平成23年2月7日（月）午後3時から

2 会 場 宮城県行政庁舎11階 第二会議室

3 出席者

(1) 出席委員 松良 千廣, 星 尚文, 青木 タマキ, 伊藤 宣子, 佐藤 宏郎,
吉岡 弘宗, 小野寺 靖子, 千葉 雅保, 鈴木 一樹, 三輪 哲,
山田 春樹, 阿部 春美, 外崎 浩子

(委員14人中12人出席)

(2) 欠席委員 三輪 哲, 徳永 恵子

4 議題

(1) 調査審議事項

①専修学校の目的変更（仙台青葉服飾・医療福祉専門学校）

②各種学校の設置者変更（角田明和女学院）

(2) その他

5 会議の概要

事務局から審議会運営規程により会議が有効に成立している旨、報告があった。

松良会長が審議会運営規程により議長となった。

議長は、議事録署名人として星委員と吉岡委員を指名した

(1) 調査審議事項

① 専修学校の目的変更（仙台青葉服飾・医療福祉専門学校）

事務局から、資料により説明を行った。

特に質疑等なく、本審議会として了承される。

② 各種学校の設置者変更（角田明和女学院）

事務局から、資料により説明を行った。

(吉岡委員)

建物や面積等の部分に関しては、設置者変更で考慮すれば良いと思うが、実際、人数の部分でこのような人数で運営が耐えうる裏づけというのはあるのか。

(事務局)

個人立であり、教員等は設置者のご家族及び親族の方という家族経営です。経営状況

は、収入としては個人からの寄附金が大きいです。

歴史のある学校であり、地域の障害等をお持ちの方の受入先になっているとのことで、使命感をお持ちになっており、学校の継続のため設置者の変更があったものです。

(吉岡委員)

県から援助はあるのか。

(事務局)

各種学校ですので、ありません。

(松良会長)

後任の設置者の年齢も高齢で、普通なら設置者変更ではなく学校法人化を進める話を
するところだが、私塾化というアプローチもあったとか伺っているが。

(事務局)

生徒数が少数で推移していますので、私塾としてやるという方法もあると話しをして
いますが、地域のニーズがあると頑張っていらっしゃるので、当方としては止めるよう
にと強制できず、現在に至ります。

その他特に質疑等なく、本審議会として了承される。

6 その他

平成23年度第1回の私立学校審議会の日程等について、事務局から説明した。

以下、余白

上記の議事を証するため、ここに議事録を作成する。

議事録署名人

平成 年 月 日

氏名 印

平成 年 月 日

氏名 印
